

# ゴーヘッドス 速報

Goaheads

第2号 平成28年3月6日

暢造四死球に課題が有るも4回を粘投！！

大量失策がゲームを壊す！

	1	2	3	4	5	6	7	8	R
I	0	0	3	2	1	1			7
G	0	1	0	1	3	1			6



まだ肌寒さが残る3/6(日)2016シーズンが、対戦相手は初カード、場所は、多摩川緑地公園野球場にて横浜Infinityとのオープン戦で幕を開けた。その開幕投手には、暢造が上がりプレイボール、先頭を捕飛に斬り発進、その後は、死球で一人の走者を出すも初回を無難な投球で抑えた。続く2回には3者凡退に斬る好投、それを援護する打線は初回こそ三人で終わるも、2回には、英の今期チーム初安打二盗でチャンスを作る。後続の内野ゴロの間に三塁に進塁し、二死三塁、ここで打者の打球は三ゴロとなったが、守備の乱れから先制点を挙げる事が出来た。先制を挙げるとチームの勝利確率は上がっていくが、今日のゲームはそうならなかった。翌3回の相手攻撃、先頭を打ち取ったかと思ったが、野手がハンプルし出塁を許す。続く打者も打ち取った打球を野手がハンプルし悪送球、次打者にも失策で出塁と、3者連続失策で出塁を許すと、2ランスクイズを決められ、結果、この回1安打で3点を献上する事となった。流れが悪いまま、翌4回には、2つの失策と2つの与四球に1安打が加わり、またもや失点を重ねた。その裏、一死から二塁打で出塁した走者をこちら守備の乱れから生還させる事が出来、この回1点を返した。4回で暢造はマウンドを降りたが、与四死球の数が減れば、ローテに入れる才能を持っていると感じた内容であった。5回からは祐太郎がマウンドに上がり、2三振を取るも、2安打にて1失点、しかしその裏、打者一巡の攻撃を演じ、3点をもぎ取った。この回先頭は倒れ一死としたが、2番智、3番哲也が連続で四球を選択し出塁、更には、智が二盗・三盗を決め、3番哲也のWPの間に労せず先ず1点、そして、4番祐太郎が中越の2ベースで一塁より一挙哲也が生還し2点目。英の今日2本目の安打で祐太郎は三塁に進み、一死一三塁、その後英の二盗でぐっと同点に近づいた。次打者もこのイニング3個目の四球を選択し一死満塁一打すれば一挙逆転のチャンスとなるが、次打者は打ち上げ二死、が、秀の死球による押し出しでその差は1点差となったが、後続が凡打に倒れ、今日一番のビッグイニングを物にする事が出来なかった。最終回には1失点し、その差は2点と広がり最終回に。この回暢造の安打二盗、智の犠打、哲の犠飛で1点を挙げるも、残念ながら、今日のゲームはここで息絶え初戦を飾る事は出来なかった。振り返ってみると、きょうの敗戦はやはり失策6が響いている。3回の3失点は失策から来るものなので、慌てず焦らず確実には処理する必要がある。打線においては、やはり5回のビッグイニングの繋がらぬ。ただ、その中で最終回に絶対に点を取るための先頭打者の出塁、進塁、送る、返すは、見事な内容。今日の悪かった事は改め、良かった事は次にも繋げ、今期初勝利を目指しましょう！